



2023春季生活闘争



中小労組の奮闘で「賃上げの流れ」の広がりが明らかに 2023春季生活闘争 回答妥結状況（加重平均）

連合本部 第5回集計結果 (5月10日現在)	集計組合	賃上げ額(率)	昨年賃上げ額(率) (2022.5.9)
	3,681 組合	10,923 円(3.67%)	6,160 円 2.10%
連合滋賀 集計結果 (4月28日現在)	集計組合	賃上げ額(率)	昨年賃上げ額(率) (2022.4.22)
	89 組合	10,171 円(4.28%)	6,030 円 1.72%

連合2023春季生活闘争第5回集計結果プレスリリース（5月10日）

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した 4,833 組合中 3,686 組合が妥結済み(76.2%)。うち賃金改善分を獲得した組合は 2,146 組合・58.2%で、組合数・割合とも 2014闘争以降最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した3,681組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で10,923円・3.67% (昨年同時期比4,763円増・1.57ポイント増)、うち300人未満の中小組合 2,478 組合は8,328円・3.35% (同3,331円増・1.33ポイント増)となった。4月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な2013闘争以降、額・率とも最も高く、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。
賃上げ分が明確に分かる 2,518 組合の「賃上げ分」は 6,047 円・2.14%、うち中小組合 1,504 組合は 5,104 円・2.00%となった。4月末時点で2%を上回ったのは、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給56.48円(同31.94円増)・月給8,849円(同3,773円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ5.35%・3.96%となり、引き続き一般組合員(平均賃金方式)を上回るとともに比較可能な 2015闘争以降で最も高い。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けても引き続き数多くの取り組みがなされている。



男女平等標語・川柳募集

テーマ:「ジェンダー平等」「男女平等」「女性参画」「均等待遇」「格差是正」「ワーク・ライフ・バランス」「ハラスメント」「SOGI」等を題材としたもの

表彰:最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作15点、特別賞4点程度を決定
最優秀賞、優秀賞は連合滋賀定期大会にて表彰します
(副賞:最優秀賞5千円 優秀賞3千円 佳作千円 特別賞千円の商品券)

応募:FAX・メール・LINE@・WEBにて連合滋賀までご応募ください。
応募期限:2023年6月30日(金)まで



滋賀県内で撮影した「とっておきの一枚」を 連合滋賀フォトコンテスト



写真:滋賀県内で撮影された写真(横向き)

表彰:最優秀賞1点、優秀賞3~5点、佳作5~10点 ※最優秀賞は定期大会議案書表紙へ掲載
(副賞:最優秀賞1万円 優秀賞5千円 佳作千円の商品券)

応募:連合滋賀公式LINEアカウントにご登録いただき、応募写真をLINEで送付ください。
応募期限:2023年7月31日(月)まで



連合 滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2023年5月29日

連合滋賀 第310号
 大津市松本2丁目10-6
 電話077-523-0500
 発行・白木 宏司
 編集・池内 正博
 (定価 1部61円)
 印刷 エメディア株式会社

第94回滋賀県労働者統一メーデー 支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！ 笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう！



「支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう！」をスローガンとして、滋賀県労協と連合滋賀の共催で、第94回滋賀県労働者統一メーデーを4月29日(土、祝)に県下4会場にて開催し、約2,300名の方々にご来場いただきました。

今年は、近江八幡文化会館を中央会場として式典を行い、主催者代表挨拶として滋賀県労協大西省三会長、共催者代表挨拶として連合滋賀白木宏司会長がそれぞれ冒頭に挨拶を行い、大杉住子滋賀県副知事をはじめ、多くの来賓の方々にお越しいただきご祝辞を賜りました。

また、中央会場では式典後、参加者と共にデモ行進を行い、安心して暮らせる賃上げ、同一労働同一賃金の実現、社会のセーフティネットの強化、ワーク・ライフ・バランスの実現、男女平等社会の実現などを進めるよう、アピールしました。

県下4会場ともに模擬店や子どもコーナーなど、様々なブースを出展し来場者の皆さま楽しんでいただいている様子で、「つながること、団結すること」の重要性を再確認した集会となりました。



大西省三 滋賀県労協会長



白木宏司 連合滋賀会長

第94回滋賀県労働者統一メーデー メーデー宣言(案)

本日、私たちは第94回滋賀県労働者統一メーデーを開催した。労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求する、メーデーの社会的意義は不変である。多様な仲間がつながること、団結することの重要性を再認識するとともに、再び多くの仲間が結集することができた、この喜びを皆で分かち合おう。

長引くコロナ禍や急激な物価高は、私たちのくらし、とりわけ立場の弱い人々に大きな影響を与えている。持続的な賃上げや、有期・短時間・契約などで働く仲間の処遇改善、適正な価格転嫁、フリーランスをはじめ曖昧な雇用の課題解決、そして社会的セーフティネットの強化など、くらしをまもる取り組みを最優先に進めよう。

あわせて、本年は関東大震災から100年となる。甚大な被害をもたらしたトルコ・シリアの大地震は記憶に新しいが、わが国でも気候変動に伴う自然災害が頻発化・激甚化している。これら災害の記憶を風化させることなく、被災地の復興・再生と、その教訓を活かした防災・減災対策を進め、支え合い・助け合いの社会をつくって行こう。

国際社会に目を向ければ、ロシアによるウクライナへの軍事侵襲は未だ終結の兆しすら見えず、この間の北朝鮮のミサイル発射なども相まって、今この時も世界の平和が脅かされている。平和と秩序を武力で破壊する暴挙は断じて許されない。まもなく被爆地・広島で、核兵器保有国をはじめとする世界のトップリーダーが一堂に会する、歴史的なG7サミットが開催される。唯一の戦争被爆国として、核兵器の廃絶と恒久平和の実現、そしてそのための国際社会の結束を強く求めよう。

さらに、ミャンマー軍事政権による市民弾圧など、いまだに人類普通の価値ある人権を脅かし、侵害し続ける国もある。今こそ私たちは、平和・人権・環境・労働が守られる、自由で民主的な世界の構築に向け、国際連帯を深めて行こう。

すべての働く仲間が安心して働けくらすために、ジェンダー平等の実現はもとより、多様な価値観・背景を持つさまざまな人たちの対話を進め、持続可能でよりよい世界、誰一人取り残されることのない社会、笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう。

以上、ここに宣言する。

2023年4月29日

第94回滋賀県労働者統一メーデー中央集会

第20回統一地方選挙 連合滋賀推薦候補者28名中22名が当選!

滋賀県議会議員選挙 各市町議会議員選挙

選挙区	候補者名	獲得票数	結果
大津市	かわい 昭成	9,685票	当選
	野田たけひろ	8,648票	当選
	佐口 よしえ	8,573票	当選
彦根市・犬上郡	赤井 康彦	7,359票	当選
米原市	角田 こうや	10,023票	当選
長浜市	宮本 てつや	6,588票	惜敗
草津市	山本 正	6,636票	惜敗
守山市	小川 やすえ	7,970票	当選
	もりしげ重則	5,468票	当選
近江八幡市・竜王町	今江まさひこ	7,136票	当選
東近江市・日野町・愛荘町	山本 みえこ	5,204票	惜敗
	坂口あきのり	3,761票	惜敗
湖南市	塚本 しげき	3,632票	惜敗
甲賀市	田中 松太郎	8,839票	当選

各議会議員選挙	候補者名	獲得票数	結果
大津市議会	かだ 修平	5,469票	当選
	田中ともひさ	3,684票	当選
	奥村 いさお	3,370票	当選
	ひぐま 慈	2,923票	当選
	ふなもと 力	1,828票	当選
	草川 ただし	1,781票	当選
	中田よしひさ	1,679票	惜敗
彦根市議会	やぶき 安子	2,354票	当選
	森田 みつる	1,751票	当選
栗東市議会	上石田まさこ	2,255票	当選
	谷口 りつか	1,957票	当選
栗東市議会	田村たかみつ	1,033票	当選
	山本 英夫	870票	当選
近江八幡市議会	山本 英夫	870票	当選
日野町議会	山本 ひでき	796票	当選



滋賀県との「誰もが安心して働くことができる社会づくり共同宣言」 「ひとづくり推進」など共同宣言に追加!さらなる連携強化へ!



連合滋賀と滋賀県は、5月18日(木)に滋賀県公館において、「誰もが安心して働くことができる社会づくり共同宣言」について、再サインアップを行いました。

連合滋賀は結成以来、滋賀県に対し政策・制度要求と提言の取り組みを行っており、働く者・生活者の立場から様々な提言、協議を重ねてきました。

2021年にこれまでの話し合いをかたちとして残すため、新型コロナウイルス感染症対策、働き方改革の推進、女性活躍の推進、ハラスメントの防止、マザーレイクゴールズ・しがCO2ネットゼロの推進など、方向性を一連の協議の場を通じて確認し、連携して取り組んでいくことについて「誰もが安心して働くことができる社会づくり共同宣言」として表明をいたしました。そして今回、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行するなど、社会情勢に変化があったことを踏まえ、文言の修正とともに、重点的に取り組む項目として「ひとづくりの推進」を追加しました。



共同宣言を行う白木会長と三日月知事

誰もが安心して働くことができる社会づくり共同宣言

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済・雇用へ甚大な影響を与え、我々の生活に大きな変化をもたらしました。ダメージを受けた地域経済の回復に加え、深刻化した「こころの健康」の問題などコロナ禍で顕在化した様々な問題への対応が喫緊の課題となっています。

一方で、社会のデジタル化の進展や、地方への関心の高まり、自然が持つ価値の再評価、人々の価値観の容容が見られ、ポストコロナ時代の幕開けを迎えています。

今後、滋賀県の経済を自律的かつ持続的に成長させ、包摂的な社会を構築していくためには、誰もが働きがいを持ち、安定した雇用や安心してできる社会的セーフティネット機能を基盤とした経済と社会の実現が不可欠です。

また、この社会変化を成長のための絶好の機会と捉え、しがCO2ネットゼロやDXを推進するとともに、琵琶湖をはじめとする自然環境を守り、気候変動や自然災害に強い持続可能な社会をつくるためには、マザーレイクゴールズ(MLGs)の取組も重要となっています。

滋賀県と連合滋賀は共に連携し、誰もが安心して働くことができる社会づくりのため、以下の事項に重点的に取り組みます。

ポストコロナにおける取組の推進

これまでの経験を活かし、引き続き感染防止対策に取り組むとともに、回復途上にある中小企業の活性化やそこで働く人々の雇用の安定に向けた取組、職場におけるメンタルヘルス対策を進め、誰もが安心して生活できる社会の実現を目指します。

働き方改革の推進

県内企業の魅力を高め、生産性を向上していくため、滋賀県域の実情に即した働き方改革を推進し、働きやすい滋賀の実現を目指します。

ひとづくりの推進

社会の変革に対応する「ひとづくり」を推進し、労働者一人ひとりが自らの成長を実感し、働きがいを持って働くことができる社会の実現を目指します。

女性活躍の推進

職場や地域で女性が活躍できる社会の実現に向け、女性がその能力を最大限に発揮できる環境づくりに取り組み、あらゆる分野における女性の社会参画の拡大を目指します。

ハラスメントの防止

仕事や生活の場でのハラスメントを無くし、すべての県民がお互いを尊重し合い、一人ひとりの多様性が認められ、対等な関係の中で共に生きていける社会の実現を目指します。

マザーレイクゴールズ(MLGs)・しがCO2ネットゼロの推進

気候変動の危機感を共有するとともに、経済成長につなげる機会と捉え、「琵琶湖」を切り口とする地域レベルでの取組を通じて、環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築を目指します。

2023年5月18日
滋賀県知事 三日月大造 連合滋賀会長 白木宏司

次世代の労働組合リーダーを育成する! 淡海リーダーセミナー第10期開講



第1講座を受けた第10期受講生たち



若者に労働組合・ワークルールの知識を! 滋賀大学寄付講座開講



第1講座を行う連合滋賀白木会長

